

秋の全国火災予防運動で火災予防啓発 幼年消防クラブが防火パレード

11月13日に法輪保育園幼年消防クラブの園児7名が火災の発生しやすい季節の前に防火パレードを実施しました。「わたしたちはひあそびをしません」と書かれた横断幕を持ち法被姿で町内を行進した園児たち。先頭の川口凜心ちゃんが打ち鳴らす拍子木に合わせ、沿道の住民に向け、大声で力強く火災予防を訴えました。



11月9日から始まった秋の全国火災予防運動に併せて行われ、14日には田代幼稚園幼年消防クラブが防火パレードを実施。

実際に触れて魚を身近に感じてほしい 特産のカンパチでおさかな教室

魚離れが進む子どもたちに、魚や海の魅力を知ってほしいとおおすみ岬漁協青壮年部が「おさかな料理教室」を行いました。20年以上続く恒例の料理教室で、今年は2日間に分けて行い、11月17日には田代小の児童14名が参加。指導を受けながら自分たちで刺身にした新鮮なカンパチを満面の笑みで頬張っていました。



漁協青壮年部の染川和希部長は「学んだことを活かして、家でも大人と一緒に魚料理をしてほしい」と期待を寄せました。

町内郵便局から3名が出席。写真右から神川郵便局の菅浦昭弘局長、大根占郵便局の木場丈二局長、田代郵便局の柳田学局長。



協力して安心・安全な暮らしなどを目指す 日本郵便と包括連携協定を締結

11月1日、町は日本郵便株式会社と安心・安全な暮らしの実現や地域経済活性化、未来を担う子どもの育成などを目的に包括連携協定を締結。田代郵便局の柳田学局長は「今後はさらに安全で安心、信頼される郵便局を目指し、住みやすいまちづくりができるように町と連携して努力していきたい」と話しました。

雲研究者になりたいと発表した大根占小6年生の大河原^{しゅうや}君は「好きなことを職業にできるように努力したい」と答えました。



夢を大学生のサポートを受けて見つける 夢発見プログラムの発表会を開催

夢を見つけ実現に向けた一歩を踏み出してほしいと5年前から始まった「夢発見プログラム」の発表会が11月12日に行われました。小学5・6年生の児童6名が参加し、3日間の活動で大学生からサポートを受けながら見つけた自分の夢を発表。子どもたちは夢を叶えるために、今の自分ができることを努力していく大切さを学びました。

小中学生が仕入れから販売までを行い、利益で競う「あきんど選手権」に11チームが参加。大根占小6年生の児童で出店した「りれあの」チームが優勝しました。



全県一斉の清掃活動に併せて企画 合同で清掃ボランティアを実施

11月2日、鹿児島県ビルメンテナンス協同組合大隅支部と鹿児島県ビルメンテナンス協会大隅支部が合同で法輪保育園の窓とトイレの清掃ボランティアを行いました。全県一斉活動として毎年実施しており、今回8名が参加。普段の掃除では落としきれない汚れもプロの技術で園内全ての窓とトイレが綺麗になりました。



有限会社大隅南北の前田珠社長は「園児に気持ち良く、綺麗な環境で過ごしてもらいたいと想い企画した」と笑顔で話しました。

地元食材の販売やステージ発表 いきいき秋まつり開催

11月12日、サンドームおおねじめで「錦江町いきいき秋まつり」が開催されました。新鮮な野菜や黒毛和牛などが販売され、ステージでは松元ファミリーの津軽三味線演奏やお魚解体ショーとふるまいを実施。また、木霊光さんによるチェーンソーアートの実演や子ども対トラックの綱引きなど多くの催しも行われ、大いに賑わいました。

明治6年に大根田で第七十二郷校として開校。移転や統合などを経て、昭和22年に現在の田代小学校へ改名されました。



創立150周年記念式典・発表会を開催 田代小創立150年の節目を祝う

11月11日、田代小学校で創立150周年記念式典と田代っ子発表会が行われました。歴史年表の展示や児童による劇の披露などが行われ、地域の方など約200名が参加。児童代表あいさつで6年生の馬庭^{かのん}花音さんは「田代小の良い所を引き継ぎ、新しいことに挑戦していきたい。この想いも次のみんなへ引き継ぎたい」と述べました。